

ICTを活用した保健教育の活性化を目指して
～ミライシードを活用して～

1 主題設定の理由

令和元年に文部科学省が発表した「GIGA スクール構想」の実現に向け、佐倉市では令和3年4月に児童生徒1人1台タブレット端末の整備がされた。子どもたちにとって鉛筆やノート等の文房具と同様に、タブレットは学びのスタンダードとなっており、学級担任や教科担任は毎日の授業や家庭学習にタブレットを積極的に活用している。

養護教諭は健康情報の収集や発信、健康診断のデータ管理等で日頃からICTを活用して執務を行っている。一方で、保健教育に積極的にICTを活用しているとはいえない状況ではないかと感じた。

そこで、養護教諭が行う保健教育においてICT化が浸透しない理由を明確にすることで、タブレット1人1台の学習環境を活かした保健教育の活性化がなされるのではないかと仮定し、研究を進めることとした。さらに、保健教育においてもICTを活用することで、文部科学省答申において提言されている個別最適な学びと協働的な学びを実現し、深い学びにつながるのではないかと考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

養護教諭が行う保健教育におけるICT活用状況を把握し、必要な情報を共有することでICTを活用した保健教育を実践しやすくなるだろう。

3 研究内容

- (1) 事前アンケートの実施：養護教諭が行う保健教育におけるICT活用状況の把握
- (2) 養護教諭対象の研修会実施：ICTを活用した保健教育について
- (3) 保健教育におけるICT活用事例の共有
- (4) 事後アンケートの実施

4 結論

- ・保健教育に特化したICT研修の実施、活用事例や教材の共有は、養護教諭の保健教育におけるICT活用への関心意欲の向上につながった。
- ・養護教諭のICTを活用した指導力の向上のためには、今後も実践的な研修の実施と実践例や教材の共有を継続していく必要がある。また、実際に取り組みやすい場面から教材研究や活用実践を重ねていくことも重要である。



1部会 佐倉市養護教諭会
提案者 佐倉市立上志津小学校 門山 悦子
佐倉市立和田小学校 佐藤 藍

1 はじめに

令和元年に文部科学省が発表した「GIGA スクール構想」の実現に向け、佐倉市では、令和3年4月に児童生徒1人1台タブレット端末の整備がされた。子どもたちにとって鉛筆やノート等の文房具と同様に、タブレットは学びのスタンダードとなっており、学級担任や教科担任は毎日の授業や家庭学習にタブレットを積極的に活用している。これまでの紙や黒板で行ってきた教育実践に加え、ICTの各ツールを教育に取り入れることにより、効果的な学びにつながっていると感じる。

養護教諭は学校欠席者情報システムの入力や、健康診断のデータ管理、日本スポーツ振興センターの申請業務等で日頃からICTを活用して執務を行っている。一方で、保健指導や保健の授業等、保健教育に積極的にICTを活用しているとはいえない状況ではないかと感じた。

そこで、養護教諭が行う保健教育においてICT化が浸透しない理由を明確にすることで、タブレット1人1台の学習環境を活かした保健教育の活性化がなされるのではないかと仮定し、研究を進めることとした。さらに、保健教育においてもICTを活用することで、文部科学省答申において提言されている個別最適な学びと協働的な学びを実現し、深い学びにつながるのではないかと考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

養護教諭が行う保健教育におけるICT活用状況を把握し、必要な情報を共有することでICTを活用した保健教育を実践しやすくなるだろう。

3 研究経過

【令和4年度】

- | | |
|-------|--|
| 5月～8月 | 研修テーマの検討 |
| 10月 | 市内養護教諭を対象とした事前アンケートの実施および分析
「養護教諭が行う保健教育におけるICT活用状況について」 |
| 3月 | 「ICTを活用した保健教育」について研修会を受講
対象：佐倉市健康教育研修班・養護教諭
講師：ICT支援員 高金 麻依子先生 |

【令和5年度】

- | | |
|-----|--|
| 5月～ | 保健教育におけるICT活用事例の作成及び実践 |
| 8月 | 「ICTを活用した保健教育」について研修会実施
対象：1部会養護教諭
実施者：佐倉市健康教育研修班・養護教諭
研修終了時に事後アンケートの実施 |
| 12月 | 保健教育におけるICT活用事例を市内養護教諭対象に共有 |
| 1月 | 市内養護教諭を対象とした事後アンケートの実施・集計・分析
「研修会および活用事例共有後のICT活用状況について」 |

4 研究内容

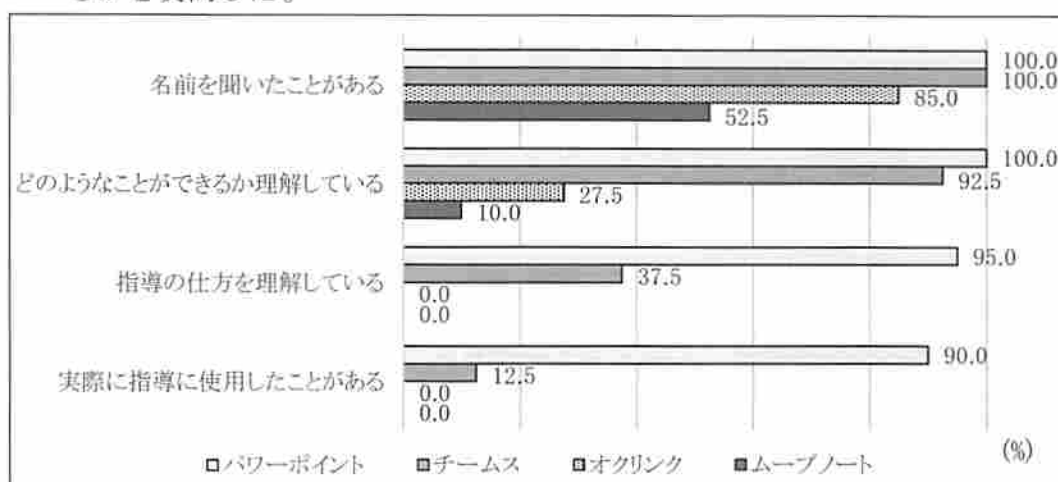
(1) 事前アンケートの実施

「養護教諭が行う保健教育における ICT 活用状況について」

- ・対象 : 1 部会養護教諭40人
- ・調査方法 : Microsoft Forms による質問紙調査
- ・調査時期 : 令和4年10月

①結果(資料1より一部抜粋)

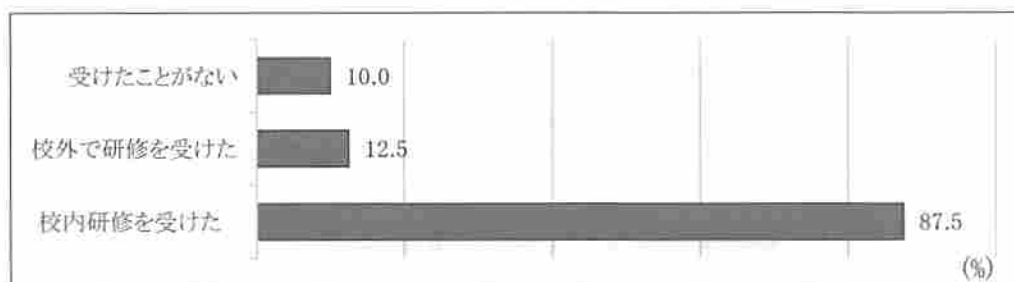
I 質問5～8で、パワーポイント・チームス・オクリンク・ムーブノートの各ツールについて、名前を聞いたことがあるか、どのようなことができるか理解しているか、指導の仕方を理解しているか、実際に使用して指導したことがあるかを質問した。



パワーポイントは、「実際に指導に使用したことがある」と答えた養護教諭が90.0% (40人中36人)と多かった。Teamsは、92.5% (37人)が「どのようなことができるか理解している」と答えたが、「指導の仕方を理解している」養護教諭は37.5% (15人)と半数以下であり、さらに「実際に指導に使用したことがある」養護教諭は12.5% (5人)と少なかった。

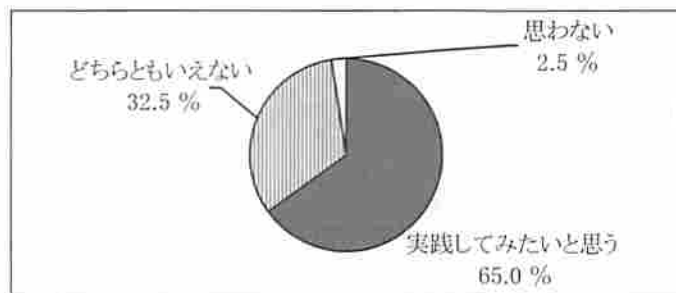
ムーブノート・オクリンクについては、「名前を聞いたことがある」養護教諭は半数以上いたが、「指導の仕方を理解している」「実際に指導に使用したことがある」と答えた養護教諭は0人であった。

II 質問4で、ICT教育に関する研修を受けたことがあるか質問した。



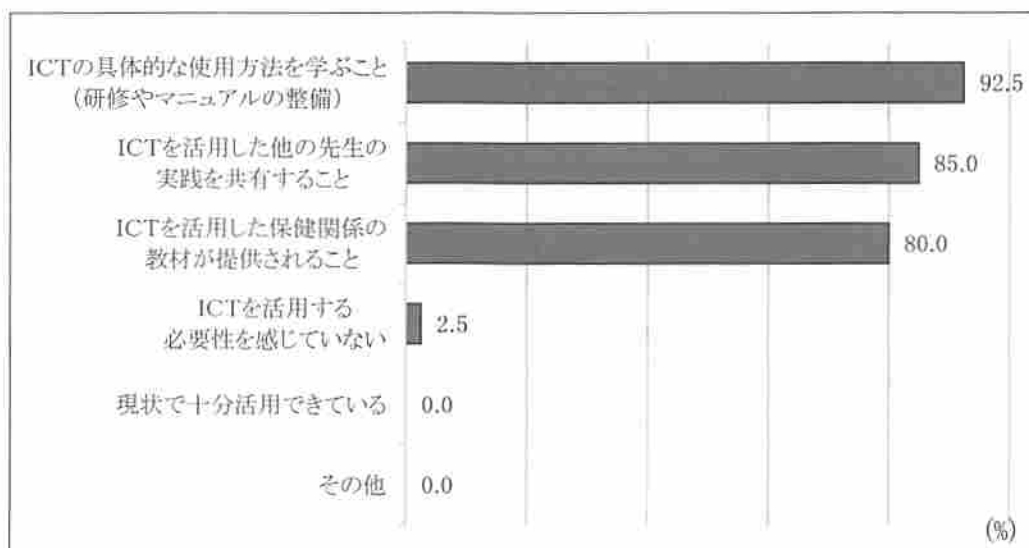
校内または校外で「ICTに関する研修を受けたことがある」養護教諭は87.5% (35人)であり、「受けたことがない」10.0% (4人)を大きく上回った。

Ⅲ 質問10で、ICTを活用した保健教育を実践したいと思うか質問した。



「ICTを活用した保健教育を実践したい」と考えている養護教諭は65.0%（26人）おり、「どちらとも言えない」と回答した者を合わせると97.5%（39人）いた。

Ⅳ 質問13で、今後ICTを活用した保健教育を養護教諭が行うためにどのようなことが必要か質問した。



「ICTの具体的な使用方法を学ぶこと」92.5%（37人）、「実践を共有すること」85.0%（34人）、「ICTを活用した保健関係の教材が提供されること」80.0%（32人）は、いずれも高い割合であった。

②考察

○養護教諭が行う保健教育におけるICT活用の実態

パワーポイントは、GIGAスクール構想以前から学校現場で活用されており、保健教育に活用している養護教諭も多い。また、佐倉市では職員間の連絡調整やオンライン会議、児童生徒が欠席した際のオンライン授業等でTeamsを活用しており、オクリンクやムーブノート（ミライシード）と比較するとその特性の理解は進んでいる。一方、ミライシードについては、学級担任や教科担任が授業や家庭学習に活用していることから、養護教諭も名前を聞いたことはあるものの、「何となく知っている」程度で、具体的な使用方法やどのような学習に適しているのか等を深く理解していない。そのため、実際に保健教育に活用したことはないという実態がわかった。

○ ICT 化が浸透しない理由

今後養護教諭が ICT を活用した保健教育を実践するために必要なことは何か質問したところ、「研修等で具体的な使用方法を学ぶこと」「実践を共有すること」「ICT を活用した保健関係の教材が提供されること」の3項目に関して、多くの養護教諭が必要であると回答した。

しかし、これらの項目はどれも現状では十分であるとは言えない。研修を受けたことがある養護教諭は約9割と多くいたが、実際に ICT を活用するためには、より具体的で実践的な研修が必要だと考える養護教諭が多いのではないかと推測される。そのため「研修」「実践の共有」「教材の提供」のどれか一つを行っても、保健教育に ICT を積極的に取り入れようとする養護教諭は増加しないと考えられる。

そこで、保健教育における ICT の活用事例を作成し、それを元に作成手順や具体的な操作方法を伝達する養護教諭向けの研修を実施することで、養護教諭が保健教育に ICT を活用しやすくなるのではないかと考えた。

(2) 「ICT を活用した保健教育」について研修を受講(資料4)

- ・対象 : 佐倉市養護教諭健康教育研修班
- ・実施時期 : 令和5年3月6日(月)
- ・講師 : 佐倉市 ICT 支援員 高金 麻依子
- ・実施内容

ミライシードの各ツール(オクリンク・ムーブノート)の特性と効果的な指導場面をご指導いただいた。実際に操作をしながら不明点をご指導いただくことができ、有意義な研修となった。また、Forms でのアンケート作成方法や Kahoot! というクイズ作成機能を紹介していただき、研修後に活用することができた。

(3) 「ICT を活用した保健教育」についてオンラインで研修を実施(資料5)

- ・対象 : 1部会養護教諭 28人
- ・実施日 : 令和5年8月2日(水)
- ・実施者 : 佐倉市健康教育研修班・養護教諭
- ・実施内容

3月に受講した研修の内容と事前アンケート結果、事前に健康教育研修班が作成した活用事例を元に研修内容を検討した。パワーポイントは以前から保健教育に活用できている養護教諭が多いという実態と、タブレット1人1台端末による主体的・対話的な学びを実現するためには、ミライシードの活用が効果的であると考えたことから、ミライシードに重点を置いた内容とした。会場やタブレット機器の確保の問題により、オンライン研修となった。研修参加者は校務用パソコンでオンライン研修を受講し、タブレット端末でミライシードの操作を行った。「カードを作成して送る」「提出された回答を集計する」等の教員が行う操作を取り入れた内容での実施を検討したが、研修中のみ使用できる教員用のミライシ

ードログインIDを発行することが難しく、教員側の操作は画面共有で説明のみとした。

「スタンプを押す」「カードを送る」等の児童が行う操作を実際に体験してもらった。また、3月のICT支援員による研修の際に紹介された Kahoot! というクイズアプリで、ミライシードに関するクイズを出題し、研修内容の振り返りを行った。

(4) 保健教育における ICT 活用事例の作成および共有

① 5年生「歯科指導（健康な歯肉をつくろう）」（資料6）

活用ツール：オクリンク

事前に宿題として家庭で染め出しを行い、染め出しをした歯の写真をおクリンクに提出させた。オクリンクを活用したことで、歯科衛生士による指導時間を確保することができ、保護者にも染め出しの様子を知ってもらうことができた。

② 5年生「けがの予防」（資料7）

活用ツール：ムーブノート

危険箇所が示されたカードをムーブノートで児童に送り、けがが起きそうな場所にスタンプを押させる。スタンプ集計を行い、けがが起こりやすい場所を全体で確認する。また、けがを防止するための方法をカードに記入して提出させ、クラス全体で共有する。

③ 4年生「大人の体になるじゅんぴ」（資料8）

活用ツール：オクリンク

思春期の体の変化について予想する場面や、グループで並べ替えクイズをする際にオクリンクを活用した。また、体の発育・発達に不安を感じている児童の事例を用い、ワークシートに各自記入したアドバイスを撮影し、オクリンクに提出させ、クラス全体で共有した。第二次性徴は教員が一方向的に知識を教える単位になりがちであるが、オクリンクを活用したことで、児童参加型の授業を行うことができた。

④ 全学年「心の教育（SOSの出し方教育）」（資料9）

活用ツール：ムーブノート

ストレス対処法についてのスタンプ集計を行い、児童がどのような対処法を選択しているのか傾向を知る。その後、映像を視聴し、感想を記入させる。各自記入した感想を撮影し、ムーブノートに提出させる。

⑤ 高学年「感染症の予防」（資料10）

活用ツール：ムーブノート

教員から送られてきたカードに、児童が普段実践している感染症の予防方法を記入させる。テキスト集計し、多くの子どもたちに共通している予防方法を伝える。養護教諭より感染症についての話を聞き、感想を記入させる。各自記入した感想を撮影し、ムーブノートに提出させる。

(5) 事後アンケートの実施

研修会直後の令和5年8月と活用事例共有後の令和6年1月の計2回、事後アンケートを実施した。

1回目「養護教諭が行う保健教育におけるICT活用について」

- ・対象：令和5年8月に実施したオンライン研修を受講した1部会養護教諭28人（うち25人回答）
- ・調査時期：令和5年8月2日（水）研修会終了時
- ・調査方法：Microsoft Formsによる質問紙調査

2回目「研修会および活用事例共有後のICT活用状況について」

- ・対象：1部会養護教諭30人（うち24人回答）
- ・調査時期：令和6年1月
- ・調査方法：Microsoft Formsによる質問紙調査

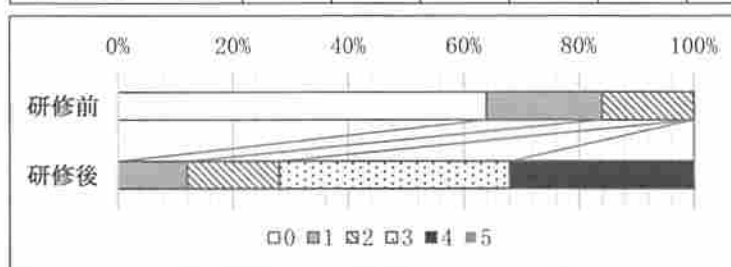
①事後アンケート1回目の結果

1 質問4および5で、今回の研修でオクリンクとムーブノートについてどれくらい理解度が深まったか質問した。

使用方法がわからないを「0」、活用できそうを「5」とする。

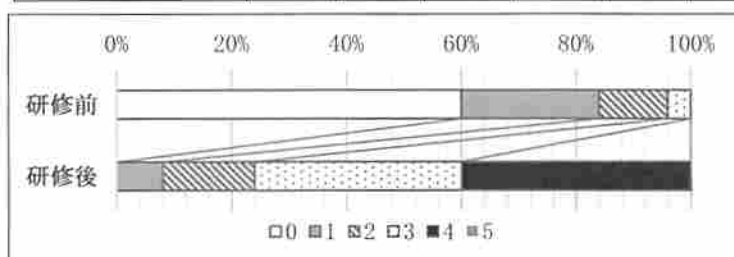
【オクリンク】

理解度	0	1	2	3	4	5	平均値
研修前（人）	16	5	4	0	0	0	0.52
研修後（人）	0	3	4	16	8	0	2.92



【ムーブノート】

理解度	0	1	2	3	4	5	平均値
研修前（人）	15	6	3	1	0	0	0.60
研修後（人）	0	2	4	9	10	0	3.08



オクリンク、ムーブノートともに研修前には理解度「0」（使用方法がわからない）の割合が約6割だったが、研修後には自信をもって活用できそうな

「5」と回答した人はいなかったものの「3」以上と回答した割合が7割をこえる結果となった。

II 質問6および7で、今回の研修で興味をもった内容を選択式で質問し、自由記述で感想を求めた。

オクリンク	18人	72%
ムーブノート	23人	92%
Kahoot!	22人	88%

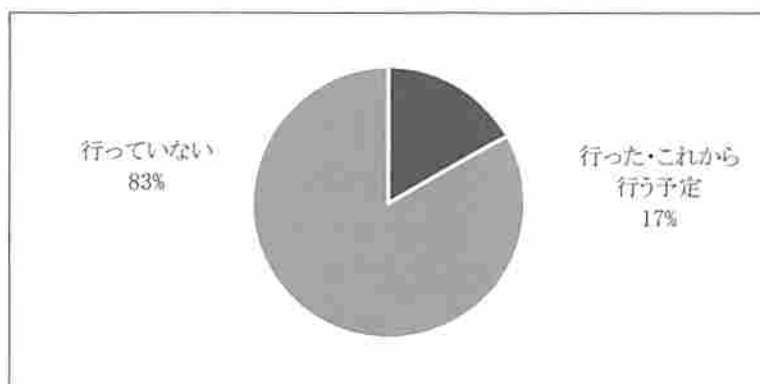
- 活用例を知ることができて良かった
- 自分自身がやってみたら簡単かと思えた
- 養護教諭バージョンの研修でよかった
- 今後実際に活用してみたい
- 今後自分自身でも勉強していきたい

- 対面での研修で、わからないことをその場で聞ければもっとよかった
- 実際の指導の様子をもっと知りたい
- 今後実践例が増えると良い
- 活用するためにはさらに研修が必要



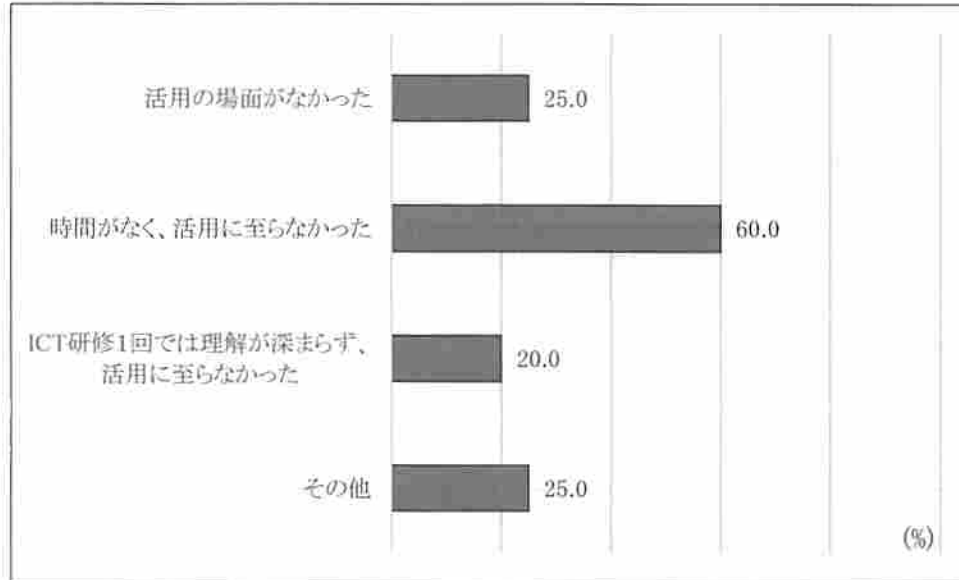
②事後アンケート2回目の結果

I 質問4、5および6で、ICT研修後にICTを活用した保健教育を行ったか質問した。



24人中4人の養護教諭が、歯科指導や性教育でICTを活用したと回答した。

II 質問9でICTを活用した保健教育を行わなかった理由を質問した。



II 質問10および11の自由記述の感想より一部抜粋

- 自分自身が実際に活用してみたら意外と簡単に取り入れられた
- 保健教育における活用事例がたくさんあるとアレンジして活用でき、新しく自分で作るよりも実践の機会が増えると思う
- タブレットを活用した保健教育は効果的だと感じた
- 研修は有意義であり、よいきっかけになった



- 日々の執務に追われ、新しいことに取り組む準備の時間が確保できなかった
- 行事等が過密で、保健教育を実施できなかった。
- 一度の研修ではなく、今後も何度か継続して研修できる機会があると良い
- 保健教育におけるICT化が進むメリットよりも、視力低下が心配

③考察

オクリンクとムーブノートについて、研修前と研修後の理解度を比較すると、どちらも理解度が高まっていた。また、研修の中で実際に操作を体験したムーブノートや Kahoot! については8割以上の養護教諭が興味を持っていた。保健教育に特化した内容のICT研修を行うことで、ICTへの理解度や、活用への意欲が高まったと考えられる。

しかし、研修後にICTを活用した保健教育を実施した養護教諭は少数だった。質問9でICTを活用した保健教育を行わなかった理由を尋ねると、「時間がなく、活用に至らなかった」「活用場面がなかった」という理由が多かった。日々の執務

に追われ、教材作成に時間が取れないことや、養護教諭は授業を行う機会が限られており、ミライシードなどのツールを活用する機会が他の教員に比べて少ないことが、ICTを活用した養護教諭が増えなかった原因と考える。

また、ICTへの興味関心を向上させることはできたが、オンラインでの研修開催となったため、教員側の操作が説明のみになってしまい、十分に理解してICTを活用するまでには至らなかった。多くの養護教諭が十分に理解してICTを活用するためには、継続的な研修や、取り組みやすい事例の共有が必要であることがわかった。

5 研究の成果と課題

(1) 成果

○ICTに対する理解度の向上

保健教育に特化した養護教諭向けの研修を実施するために、研究を進める中で、ICTの特性や操作方法を一から学んだ(インプット)。得られた知識や技術をもとに、活用場面を考え、保健指導や保健教育に実際に「使ってみる」こと、また他の養護教諭へ研修を実施する(アウトプット)ことで、自分たち自身のICT活用に対する理解を深めることができた。

○養護教諭のICT活用への関心意欲の向上

養護教諭向け研修の実施、活用事例や教材の共有により、「やってみようかな」「意外と簡単かもしれない」等、保健教育におけるICT活用へのハードルを下げ、関心・意欲を向上させることができた。

○ICTの効果的な活用に向けて

事例を作成していく中で、ICTを活用することが必ずしも効果的でない場面があることがわかった。単にICTを導入するのではなく、授業ツールの一つとして捉え、その学習単位により、児童生徒がより効果的に学べるように、活用する場面や方法を選択する必要がある。

(2) 今後の課題

一度の研修や事例共有だけでは、養護教諭のICT活用力を十分に高めることはできなかった。

千葉県・千葉市教員等育成視標の養護教諭の資質向上に関する指標に「学校におけるICT利活用の意義を理解し、保健教育や教育相談等においてICTを効果的に活用する」とあるように、養護教諭も児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びを実現させるために、ICTを効果的に活用することが求められている。

そこで、養護教諭のICTを活用した指導力を向上させるための課題を以下にあげる。

○継続的な研修の実施

現状では、保健教育に特化したICT活用術を学ぶ場は少ない。今後さらにICT活用を推進するためには、ICTの基礎知識や新しいツール、アプリケーションの活用方法等について継続的な研修の実施が求められる。

○ ICT を活用した保健教育の実践例や教材の共有

養護教諭は授業を行う機会が限られている。そのため、授業に ICT を活用する機会も他の教員に比べて少ない。保健の授業だけでなく、委員会活動やミニ保健指導等、比較的取り組みやすい事例を共有することで、ICT 活用のハードルを下げる可以考虑。

○ 授業実践と評価・改善

研修や共有された実践例や教材をもとに、養護教諭が実際の場面で「試してみる（使ってみる）」ことが大切である。授業実践を重ね、評価・改善を繰り返していくことで、ICT 活用に対する自信やスキルが身についていくと考える。

ICT の活用が児童生徒の効果的な学びにつながる場面がないかを検討し、まずは自分自身の取り組みやすいところから、教材研究や実践を重ねていく必要がある。

児童生徒が主体的に自身の健康について考え、健康行動を習慣化できるように、今後も継続的な研修や実践、教材研究を積み、最良な場面で ICT を選択できるようにしていきたい。

<参考文献>

- ・佐倉市 GIGA スクール構想の実現へ (佐倉市教育委員会)
- ・「令和の日本型教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) (文部科学省 中央教育審議会)
- ・養護教諭や保健室におけるパソコン環境や ICT に関する調査報告書 (日本養護教諭関係団体連絡会)
- ・養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議の議論の取りまとめ (文部科学省)
- ・千葉県・千葉市教員等育成視標の養護教諭の資質向上に関する指標 (千葉県教育委員会)
- ・養護教諭に求められる ICT 活用指導力 (京都女子大学教職支援センター研究紀要 大川尚子他著)
- ・健学社「心とからだの健康」2021.5月 ICT を活用した「令和の日本型学校教育」

<共同研究者>

佐倉小学校	高木博子	上志津小学校	門山悦子	南志津小学校	在原優貴
間野台小学校	田中友花里	丸山梨沙		西志津小学校	前原孝子
下志津小学校	土屋有芽美	小沼真円		和田小学校	佐藤藍
白銀小学校	栗澤祐子	佐倉東中学校	村田ひとみ	南部中学校	金原由香子
上志津中学校	窪田瑛美	志津中学校	鬼島良子		

資料編



佐倉市市制70周年イメージキャラクター

佐倉くらのすけ

一部会養護教諭 養護教諭のICT利用に関するアンケート結果

問1 勤務校の校種について

校種 (人)	
幼稚園	1
小学校	24
中学校	14
無回答	1

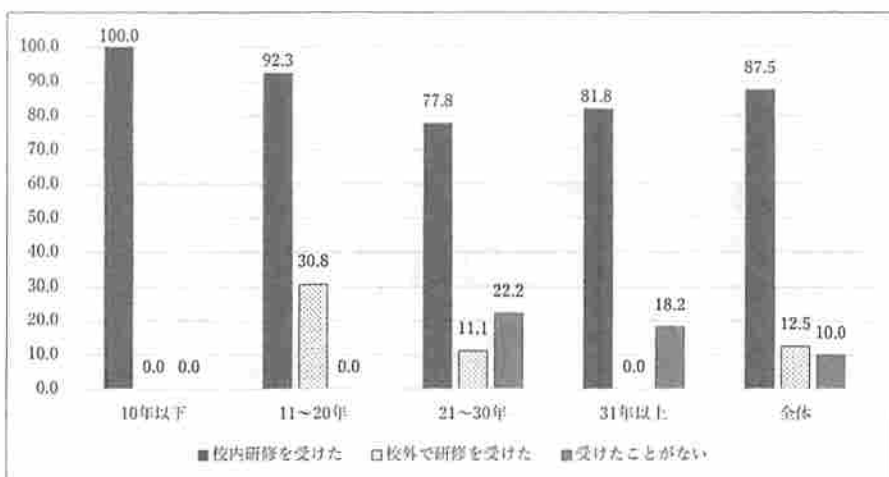
問2 年齢について

年齢 (人)	
20歳代	4
30歳代	10
40歳代	10
50歳代	15
60歳以上	1

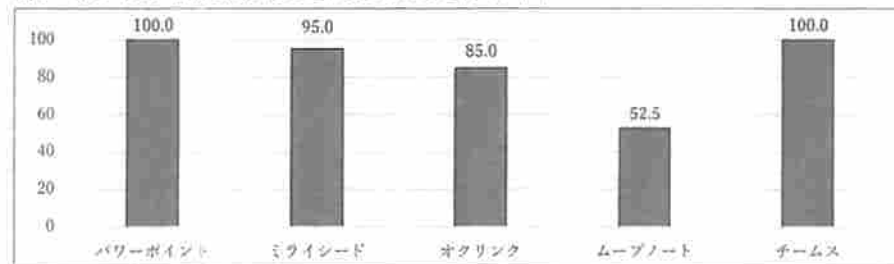
問3 養護教諭の経験年数(講師経験を含む)

経験年数 (人)	
10年以下	7
11~20年	13
21~30年	9
31年以上	11

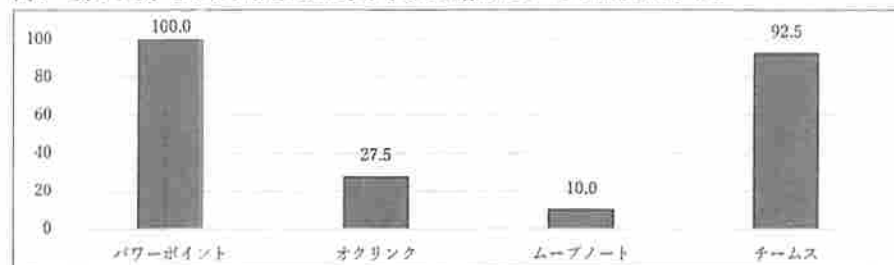
問4 ICT教育に関する研修を受けたことがありますか?



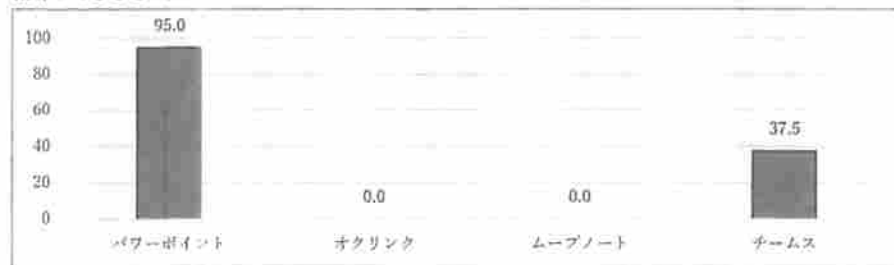
問5 次のうち、名前を聞いたことがあるものはどれですか?



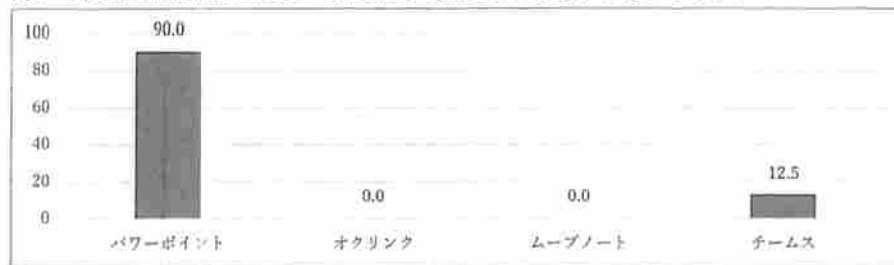
問6 次のうち、どのようなことができるものか理解しているものはどれですか?



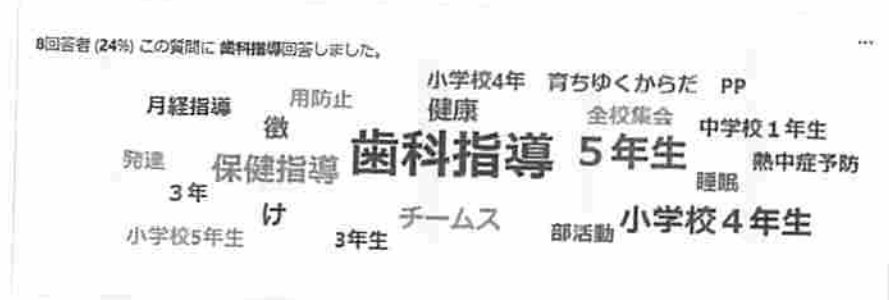
問7 次のうち、児童生徒への指導の仕方を理解しているものはどれですか? (使おうと思えば使用して指導ができるもの)



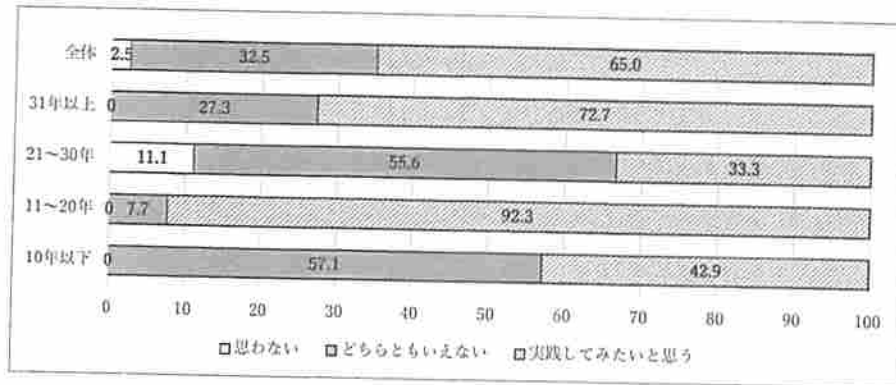
問8 次のうち、実際に児童生徒への指導に使用したことがあるものはどれですか?



問9 問8での実践例を教えてください。

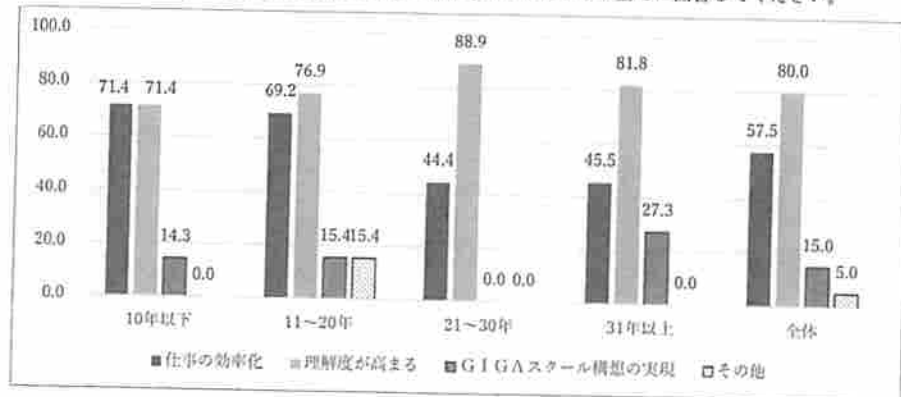


問10 ICTを活用した授業を実践したいと思いますか？



問11 問10で「実践してみたい」「どちらともいえない」と回答した方へ質問です。

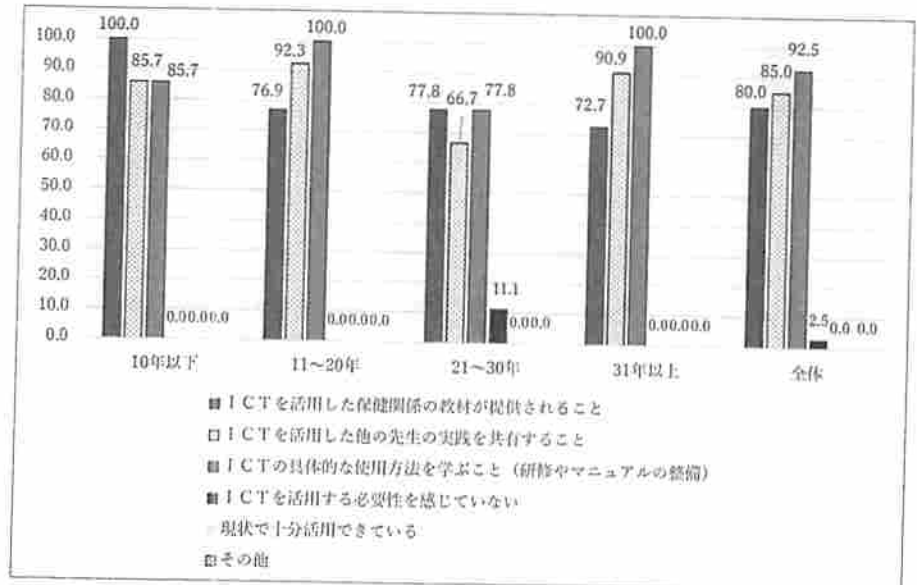
ICTを活用した授業を実践してみたい理由で当てはまるもの全てに回答してください。



問12 問11で「その他」に回答した方は、その内容を入力してください。

- ・ICT化が進む中で、養護教諭も指導の選択肢の一つとして持っていた方がよいと思うため
- ・感染症拡大防止のために学級に指導が入ることができなかったため。また授業時数確保のため児童が教室へ出向く活動ができなかったため。

問13 今後、ICTを活用した保健指導や保健の授業を養護教諭が行うために必要なことは何でしょうか？当てはまるもの全てを選択してください。



問14 問13での「その他」の内容を回答してください。

- ・回答なし

一部会養護教諭 養護教諭のICT活用に関するアンケート（ICT研修後）結果

問1 勤務校の校種について

校種（人）	
小学校	16
中学校	9
その他	0

問2 年齢について

年齢（人）	
20歳代	2
30歳代	6
40歳代	6
50歳代	11
60歳以上	0

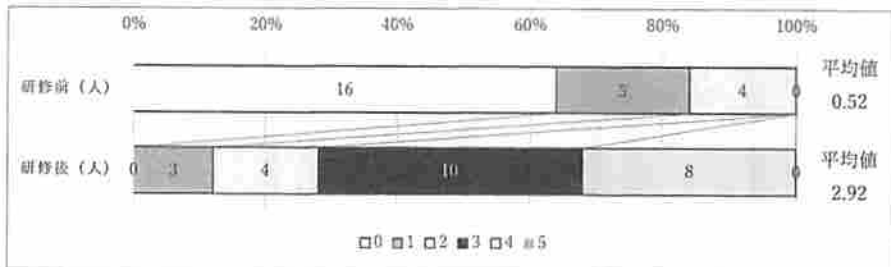
問3 養護教諭の経験年数（講師経験を含む）

経験年数（人）	
10年以下	4
11～20年	9
21～30年	4
31年以上	8

問4 今回の研修で、オクリンクについてどれくらい理解度が深まりましたか？

オクリンクの使用方法がわからないを0、オクリンクを活用できそうを5とする

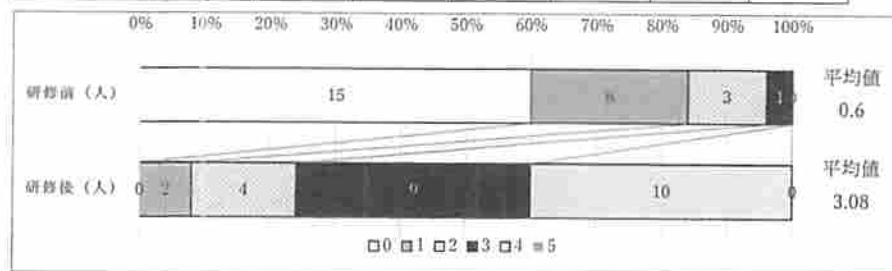
	0	1	2	3	4	5	平均値
研修前（人）	16	5	4	0	0	0	0.52
研修後（人）	0	3	4	10	8	0	2.92



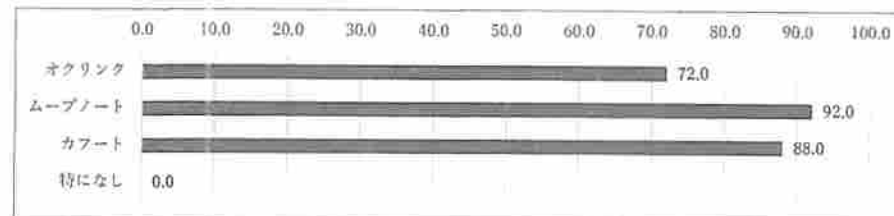
問5 今回の研修で、ムーブノートについてどれくらい理解度が深まりましたか？

ムーブノートの使用方法がわからないを0、ムーブノートを活用できそうを5とする

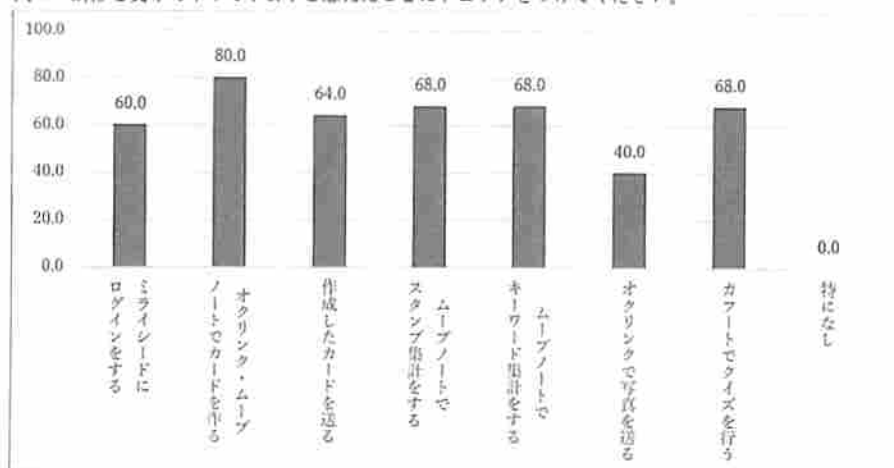
	0	1	2	3	4	5	平均値
研修前（人）	15	6	3	1	0	0	0.6
研修後（人）	0	2	4	9	10	0	3.08



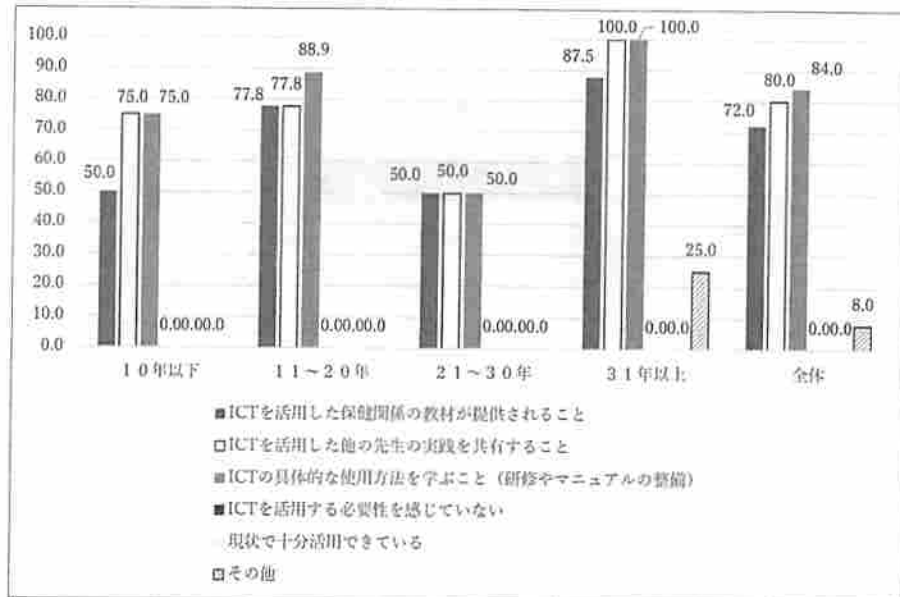
問6 今回の研修で興味を持ったものにチェックをつけてください。



問7 研修を受けてやってみようと思ったことにチェックをつけてください。



問8 今後、ICTを活用した保健指導や保健の授業を養護教諭が行うために必要なことは何でしょうか？当てはまるもの全てを選択してください。



問9 問8での「その他」の内容を回答してください。

- ・養護教諭用のタブレットを配付してほしい
- ・教材が提供されても使用方法が分からない。誰に聞いて良いかも分からず、結局、活用できないままになっていることが多い。

問10 研修の中でわかりにくかったことやもう少し詳しく知りたいことなどありましたらお書きください。

- ・実際の指導の様子をもっと知りたい。
- ・オクリンクについてもっと詳しく知りたい。
- ・教師側の操作方法を知りたい・体験したい。(2)
- ・同じ会場でできると良かった。(複数)
- ・中学校での実践を知りたい。

問11 今日のICT研修について、感想をお願いします。

- 一般の先生が活用しているのをみて焦りはするが、使いこなせないでこの足を踏んでいた。
- ミライシードの便利な点を知ることができたので、覚えてやってみたい。
- わからないことを聞きながら触れる時間があるととても良かった。
- 活用例を知れて勉強になった。
- 実際に活用してみたい。(8)
- ICT活用について勉強していきたい。(3)
- やってみると「簡単かも」と思った。(2)
- 対面で時間をかけて研修したい。
- 教材提供や授業参観ができるといい。(2)
- 実践例を増やして、共有できる場があると嬉しい。
- 教師側の自分の研修が必要。
- 養護教諭バージョンでの研修が良かった。(3)
- 授業では難しくても、まずは委員会活動で活用してみたい。

研修会及び活用事例共有後の ICT 活用状況について結果

問1 勤務校の校種について

校種 (人)	
小学校	14
中学校	10
その他	0

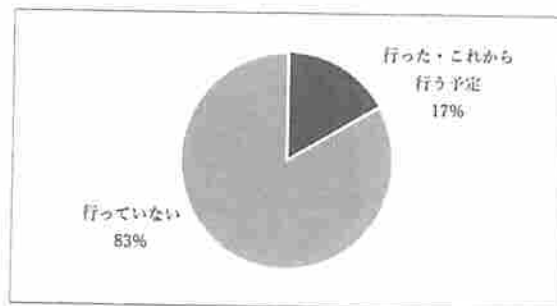
問2 年齢について

年齢 (人)	
20 歳代	2
30 歳代	5
40 歳代	7
50 歳代	10
60 歳以上	0

問3 養護教諭の経験年数 (講師経験を含む)

経験年数 (人)	
10 年以下	4
11～20 年	7
21～30 年	5
31 年以上	8

問4 健康教育班の ICT 研修後、ICT を活用した指導を行いましたか？



問5 健康教育班の作成した事例を活用しましたか？ (または活用予定ですか？)

問6 ICT を活用して指導を行った内容を教えてください。(これから実施する予定のものも含む)

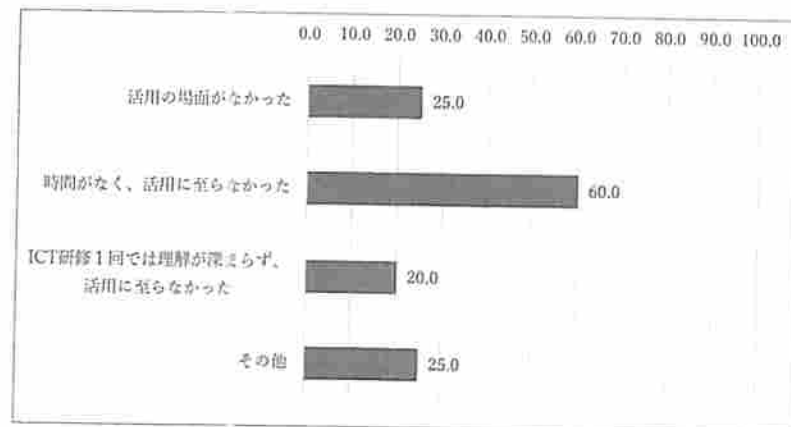
		指導内容 (実施予定も含む)
活用した	2	歯科指導 (2)
事例を参考にして自分で作成をした	1	卒業前の性教育 (生徒への事前アンケート)
活用しなかった (事例関係なく指導を行った)	1	歯科指導 (1)

問8 ICT を活用した指導を行ってみて、感想を教えてください。

- ・カフートへの反応や食いつきが良かった。
- ・意外と簡単に ICT を取り入れることができそう。
- ・ICT の活用は視覚に訴えることができるため効果的だと思う。
- ・ICT を活用した事例を研修会で行って参考になった。
- ・参考例がたくさんあるとアレンジして作成できる。

質問9 ICT を活用した指導を行っていない理由を教えてください。

活用の場面がなかった	5
時間がなく、活用に至らなかった	12
ICT 研修 1 回では理解が深まらず、活用に至らなかった	4
その他	5



問10 「その他」を選んだ方は、その他の内容を入力してください。

- ・他教科でたくさん ICT が使用されており、視力低下の観点から積極的に活用しようと思えない。
- ・授業をする機会があれば使いたい。

問11 事例や夏の ICT 研修等に対するご意見・ご感想があればお願いします。

- ・初めて知る機能もあり、興味深い研修だった。
- ・今後も事例等があれば実践する機会が据えると思う。(2)
- ・研修等で勉強する機会が増えるといい。(3)
- ・ICT 研修が良いきっかけとなった。有意義だった。(4)
- ・研修時はぜひやってみようと思ったが、日々の執務に追われて実施できなかった。(2)

※ ミライシード：ベネッセが提供するタブレット学習用オールインワンソフト

オクリンク|授業を支援するツール

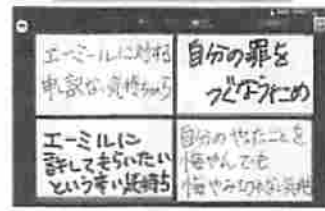


児童の様子の確認・ファイルの配布回収・画面共有・画面ロックなど授業で必要最低限の授業支援機能を搭載

LIVEモニタリング



画面比較表示



画面共有・転送



ファイル共有保存



子供画面ロック



ムーブノート|機能



学習課題に対応した自分の考えを明確にまとめるツールや共有相互評価などの機能、また授業単位での集計機能で実態に合った展開で授業を実施

解答ツール



共有相互評価

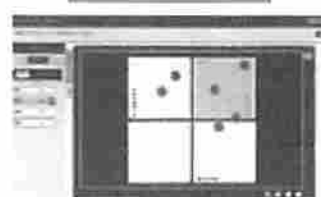


選択肢集計



回答された選択肢ごとに集計

スタンプ集計



図などにつけたスタンプの位置を視覚的に集計

キーワード集計



子どもの意見に多いキーワードを抽出して集計

マーカー集計



文章などの題材にマーキングされた範囲を集計

【参考】ムーブノートのオクリンクの使い分けにつきて

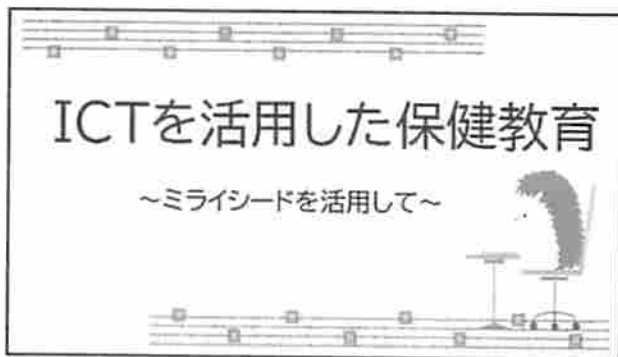


それぞれのソフトを簡単に説明すると…

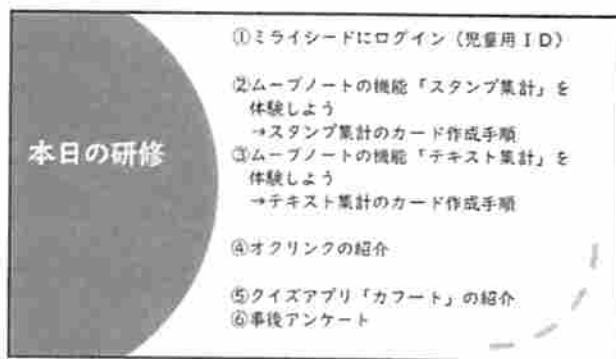
ムーブノート = クラス全員でテーマに沿った意見交流ができるコミュニケーションツール

オクリンク = 直感的な操作で考えの表現から発表までをワンストップでできるプレゼンテーションツール

ムーブノート	ソフト名	オクリンク
先生の用意した回答用カードに自分の考えを入力する	考えの表現方法	自分でペイントやカメラといった表現方法を選び、カードを連結させ、プレゼンを作る
「広場」画面で他の子供の意見が一覧できる ※子供が自由に他の人の意見を見れる	子供が他の人の意見を見る方法	基本的に先生の方で意見を選んで共有する ※共有する意見を先生が選ぶことができる
拍手ボタン、カードに対するコメント機能	意見交流の方法	人を指定して感想等を書いたカードを送る
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自席でクラス全員の考え方を見ることができる ・ 他の子供の意見に対して簡単に評価できる ・ 子供の考えの整理整頓を手助けする集計機能 	特長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な支援を要する子供でも簡単に使えるUI/UX ・ 「カメラ機能」や「インターネット機能」といった、デジタルだからこそできる考えの表現手段 ・ LIVEモニタリング機能を使えば、子供の活動の様子を見取りながらの指導が可能
物の見方や考え方などを増やす(インプットする)とき	活用場面	授業を通じて学んだことを表現する(アウトプットする)とき



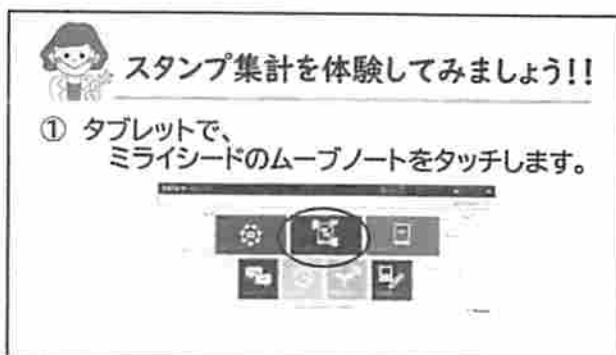
1



2



3



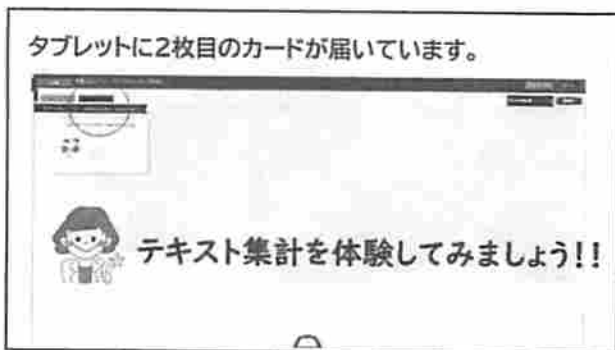
4



5



6



7




8



9



10

4年生 第二次性徴 授業 

★オクリンク活用部分★

- ①予想 (個人)
- ②並べ替えクイズ (協働) → 全体へ共有
- ③アドバイスカード (個人)
で写真を送る
- ④感想

→ 全体へ共有

→ 全員参加の性教育へ!

11

①予想クイズ (個人作業)


12

②並べ替えクイズ (協働作業)

13

**③自分が考えたアドバイスを
写真に撮って提出→全体共有へ**

14

5年生 歯科指導 

コロナ禍で、染め出しやブラッシングができなくなり・・・

自宅で染め出し体験! → ★オクリンク活用部分★
タブレットで写真を撮り授業で活用していく

15

16

1. 歯科指導(染め出し)

①使用したツール:ミライシード(オクリンク)・パワーポイント

②時間:45分

③対象:5学年

④事前準備(裏面参照)

資料等の作成	I. 家庭で取り組む宿題として、自分の歯肉の写真(染め出し前)と染め出し後の写真をオクリンクに提出させる。 II. ワークシート(プリント)準備する(市共有フォルダにデータ有) III. パワーポイントを準備する。(市共有フォルダにデータ有)
準備した物	・タブレット児童用一人一台(オクリンクを使用) ・パソコン教師用一台(オクリンクの操作・パワーポイントの操作) ・テレビ(パワーポイントを映す。) ・ワークシート ・ブラッシング指導に必要なもの(歯ブラシ・コップ・歯の模型等)

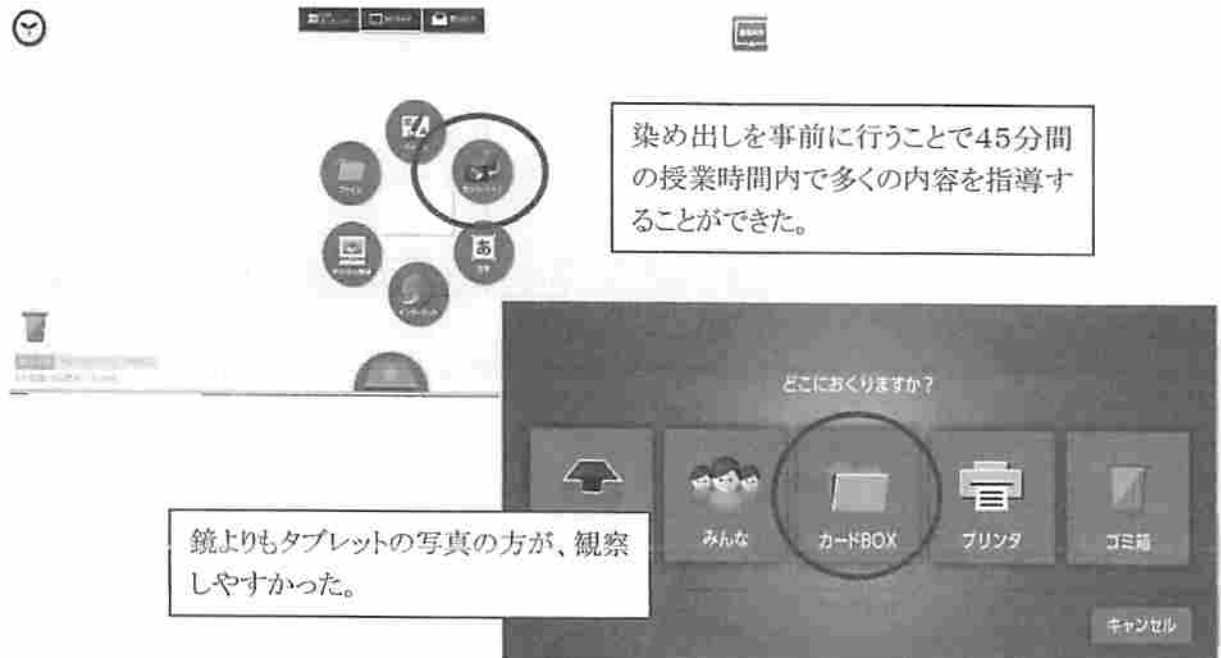
⑤指導内容

時配	学習内容と活動	資料等
5分	○むし歯よりも歯肉炎で永久歯を失うことが多いことを知る。 ・パワーポイントでグラフの提示	・パワーポイント
10分	○「健康な歯肉」と「炎症のある歯肉」を比較して、気づいたことを発表する。 ・歯肉の観察ポイントを示す。 ・事前にオクリンクに提出していた自分の歯肉の写真を観察し、歯肉炎の疑われる部分をプリントに記録する。	・パワーポイント ・プリント ・ミライシード(オクリンク)
15分	○歯肉炎とはどのような病気なのか知る。 ・歯科衛生士さんの説明を聞く。 ○正しいブラッシング方法を知る。 ・事前にオクリンクに提出した染め出しの写真を見て、みがき残しの多い箇所を確認し、みがき方を学ぶ。	・パワーポイント ・ミライシード(オクリンク) ・パワーポイント
10分	○ブラッシング演習 ・正しいブラッシング法で歯みがきの練習をする。	鏡
5分	○感想を記入する。	・プリント



I. 染め出しを事前に家庭で取り組む宿題として、オクリンクに写真を提出させる。

【保護者宛文書で家庭での染め出しを依頼、児童にオクリンクでの写真の提出方法を事前に指導した。】



II. ワークシート(プリント)を準備する。

健康な歯肉をつくろう

年 組 名前

★健康な歯ぐきと歯肉炎の歯ぐきのちがいを

	色	歯ぐきの形	引きしまり	出血
健康な歯ぐき	ピンク色	三角形	ぴったりはまって ピチピチ	ない
歯肉炎の歯ぐき				

自分の歯ぐきをチェックしよう!

自分の歯ぐきを鏡で見て、健康な歯ぐきと歯肉炎の歯ぐきのどちらに近いかなをチェックしてみましょう。健康な歯ぐきに近ければ○、歯肉炎の歯ぐきに近ければ×を下の図につけましょう。

歯肉炎を予防するみがき方

- ① 力の入れ方・・・
- ② 磨き方・・・
- ③ 磨く場所・・・

III. パワーポイントを準備する。(一部紹介)

健康な歯肉をつくろう

健康な歯肉はどっち?

健康な歯肉 | 歯肉炎

健康な歯肉

三角形 | うすいピンク色 | ぴったりはまってピチピチ | 出血なし

歯肉炎

赤色 | 大きくて腫れている | プロブコ | 出血の可能性がある

基本的なみがき方

歯肉炎を予防するみがき方

2. けがの予防 けがが多い場所や場面を知り、けがをしない行動を考えよう

①使用したツール:ミライシード(ムーブノート)

②時間:20分(ドリルタイム等)

③対象:5学年

④事前準備

資料等の作成	I. ミライシード(ムーブノート)でカードを作成し、指導を行うクラスに送る。 II. 来室記録を分析し、学校のけがについての掲示物を作成する。
準備した物	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット児童用一人一台(ミライシードを使用) ・パソコン教師用一台(ミライシードの操作) ・テレビ(教師用ムーブノートを映す) ・学校のけがについての掲示物 ・感想用紙

⑤指導内容

時配	学習内容と活動	資料等
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○今まで学校で、どんなけがをしたことがあるか考え、発表する。 ・一人一台タブレットを机上に準備し、ミライシードにログインする。 	
7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ムーブノートにて、カードを送り、けがが起きそうな場所にスタンプをつける。 ○スタンプを集計し、児童の考えをまとめる。 ○掲示物を貼り、学校でどんなけがが多いか、知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミライシード(ムーブノート) ・けがについての掲示物
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ムーブノートにて、カードを送り、けがをしない過ごし方を考え、記入する。 ○児童が「広場」にカードを送り、全員の考えを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミライシード(ムーブノート)

I. ミライシード(ムーブノート)でカードを作成し、指導を行うクラスに送る。

【作成したカード】

(1)けがをしそうな場所にスタンプを押す。



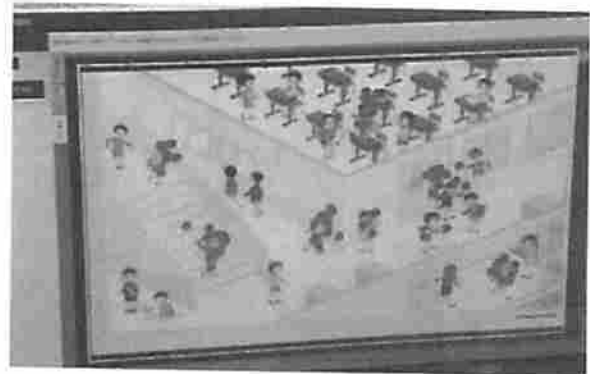
(2)スタンプを集計する。



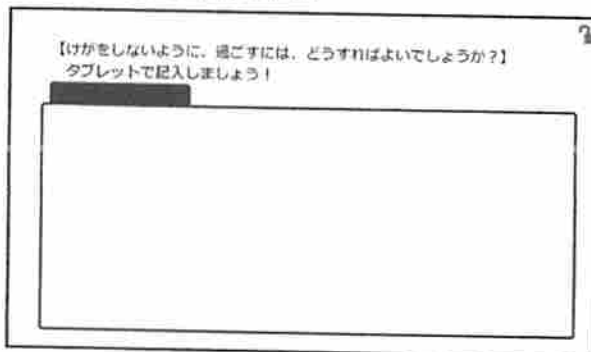
*広場にカードが提出された様子



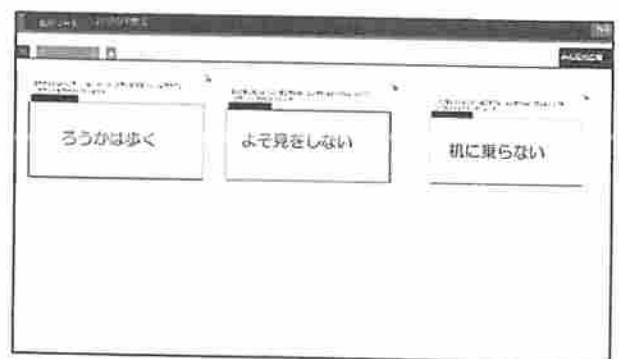
*集計した様子



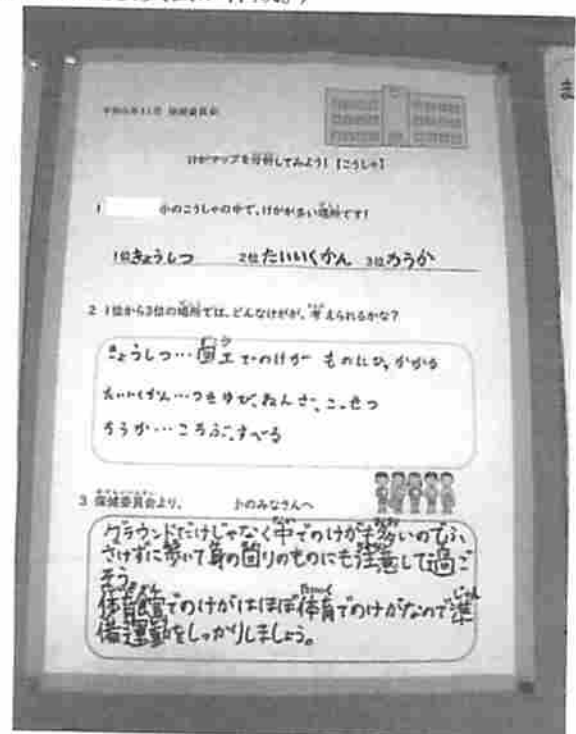
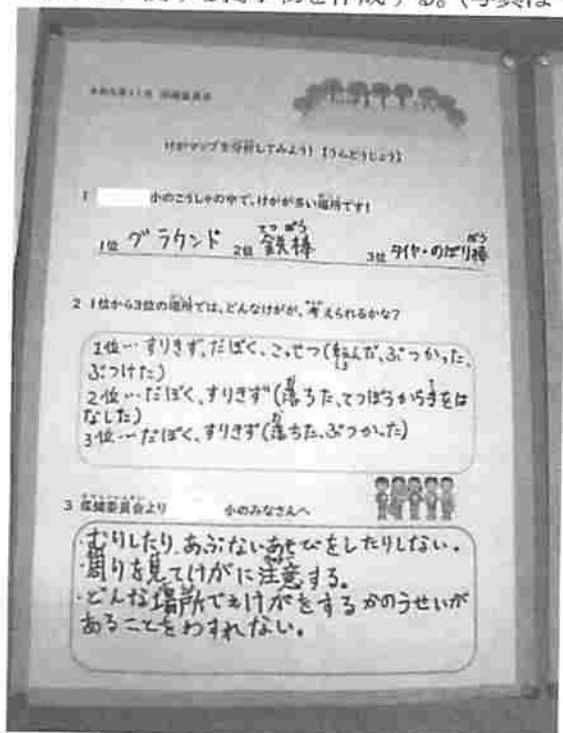
(3) 児童が考えを記入する。



(4) 広場にカードを送る。



II. けがに関する掲示物を作成する。(写真は一例。今回は保健委員会が作成。)



3. 大人の体になるじゅんぴ

①使用したツール:ミライシード(オクリンク)・パワーポイント

②時間:45分

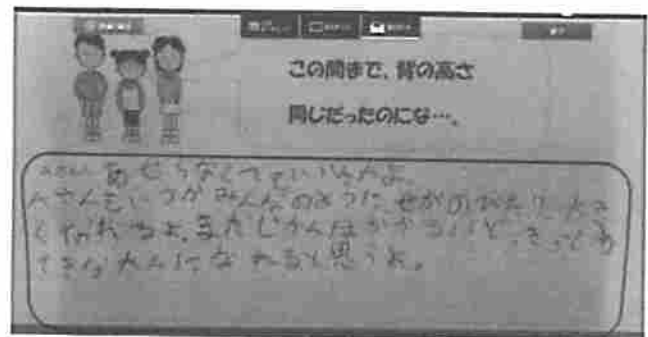
③対象:4学年

④事前準備(裏面参照)

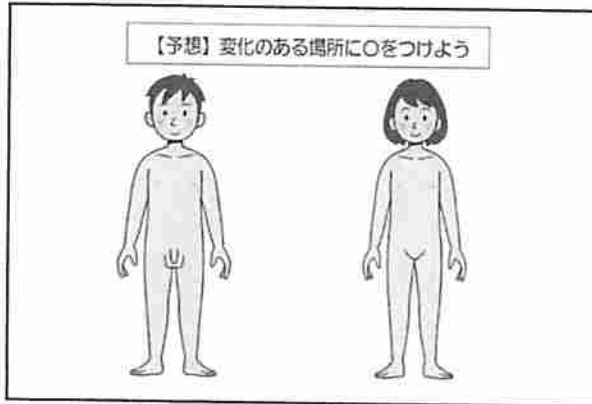
資料等の作成	I. ミライシード(オクリンク)でカードを作成し、指導を行うクラスに送る。 II. ワークシート(プリント)準備する(市共有フォルダにデータ有) III. パワーポイント準備する(市共有フォルダにデータ有)
準備した物	・タブレット児童用一人一台(オクリンクを使用) ・パソコン教師用一台(オクリンクの操作・パワーポイントの操作) ・テレビ(パワーポイントを映す) ・ワークシート ・男女の体のマグネット教材(黒板に貼っておく)

⑤指導内容

時配	学習内容と活動	資料等
10分	○どちらが男子か女子かのクイズを行い、男女の体つきの違いについて考える。	・マグネット教材
30分	○思春期の体の変化について予想する。 ・大人になるにつれ、変化すると考えた部分に、オクリンクの画面上のイラストに印をつけて、提出する。	・ミライシード (オクリンク)
	○思春期の体の変化について知る。 ・並べ替えクイズの実施(4人1グループ、1台のタブレットを使い、話し合う)思春期の男女、または男女共通に現れる変化について、オクリンクの画面上にランダムに並べられているカードを、正しく並べ替える。 ・グループごとに発表し合う。 ・パワーポイント資料より、体の変化の時期や仕方に個人差があること、他人と比較しないこと、等を知る。	・ミライシード (オクリンク) ・パワーポイント
	○体の発育・発達に不安を感じている児童の事例を用い、ワークシートにアドバイスを記入し、オクリンクで写真を撮り、提出する。 ・提出された内容を全体で共有し、友だちの意見を知る。	・ミライシード (オクリンク) ・ワークシート
5分	○本時で学習したことを振り返る。	



I. 事前にオクリンクでカードを2枚作成し、指導クラスへ送る。



思春期の体の変化について、正しく並べ替えよう。

男子	女子	男女共通
声変わりが始まる	声は高い声になり、声帯が伸びるようになる	声変わりがある体になる
汗っかきになる	むねがくらくらんでくる	胸ははげしくなる
ひげが生えてくる	こぶしはかたくなる	性腺の働きが盛んになる

II. ワークシート(プリント)を準備する。

おとなに近づく体

4年 組 氏名 _____

1 体の外観はどのように変わるでしょう？

① 予想したところを、タブレットの画面上に○印をつけましょう

② 並べ替えクイズ！ 4人1グループになって並び替えましょう

★思春期になると…

○体つきに変化が起これ、① _____ が現れる

— ② _____ の方が変化が早くはじまっている事が多い。

○変化の起これ方は、人によって ③ _____ がある

2 あなたなら、Aさんにどんな言葉をかけますか？

わくの中へ書きましょう。

Aさん

この間まで、背の高さ同じだったのに…

Aさん

III. パワーポイントを準備する。(一部紹介)

思春期の体の変化について、正しく並べ替えよう。

男子	女子	男女共通
ひげが生えてくる	声は高い声になり、声帯が伸びるようになる	声変わりがある体になる
汗っかきになる	むねがくらくらんでくる	胸ははげしくなる
声変わりが始まる	こぶしはかたくなる	性腺の働きが盛んになる

思春期になると…

女子の方が早いことが多い

① はつきに変化が起これ、男女の持ちようが現れる

② 変化の起これ方は、人によって個人差がある

① あなたなら、Aさんにどんな言葉をかけますか？

Aさん

この間まで、背の高さ同じだったのに…

②

成長のスピードはひとそれぞれだから、大丈夫、個人差があるって知ってるよ。

私も自分の成長のペースで進んでいって、でも、早や遅もっていいのだから、自分では遅いなんて思わないよ。

4. 心の健康 (SOS の出し方教育)

①使用したツール:ミライシード(ムーブノート)・チームスでの全クラスへの配信

②時間:ドリルタイム等(20分)

③対象:全学年

④事前準備(裏面参照)

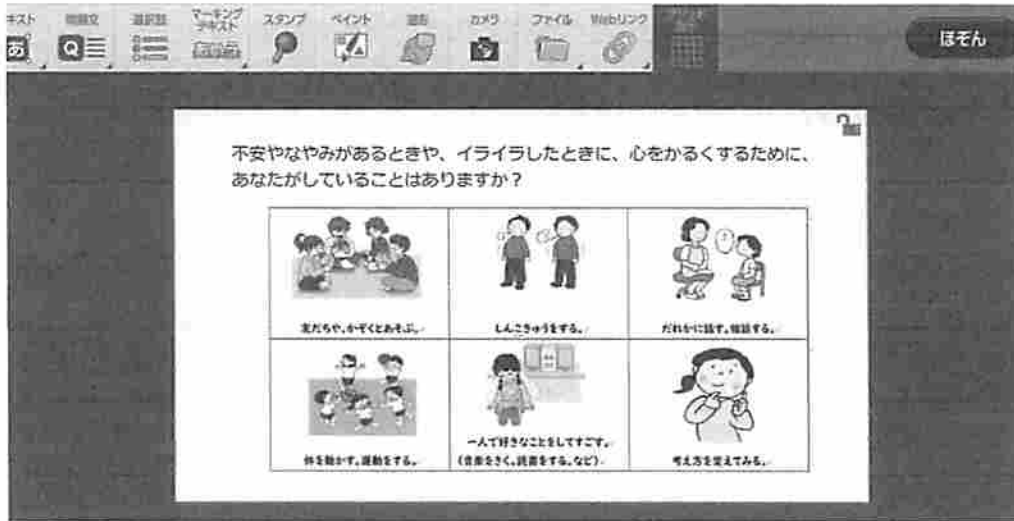
資料等の作成	I・ミライシード(ムーブノート)でカードを作成し、指導を行うクラスに送る。 II・チームスの会議をスケジュールし、配信の準備をする。 III・パワーポイントを準備する。
準備した物	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット児童用一人一台(ミライシードを使用) ・タブレット教師用一台(チームスで映像の配信とパワーポイントの画面共有) ・タブレット教室用一台(チームスの配信を受ける) ・テレビ(チームスの配信映像を映す) ・感想用紙

⑤指導内容

時配	学習内容と活動	資料等
5分	○自分自身が行っている不安やなやみをかきくする方法(ストレス対処法)について考える。 ・一人一台タブレットを机上に準備し、ミライシードにログインする。 本時に送られてきたカードに回答して送る。 ・スタンプ集計を行い、児童がどのようなストレス対処法を選択しているのか、傾向を知る。	・ミライシード (ムーブノート)
10分	○じぶんをたいせつにしよう。 ・テレビを見て、配信された映像を視聴する。	・パワーポイント ・チームス配信
5分	○感想を記入する。 ・紙に書いた感想をタブレットで撮影し、ミライシード(ムーブノート)で提出する。	・ミライシード (ムーブノート)

I. ミライシード(ムーブノート)でカードを作成し、指導を行うクラスに送る。

【作成したカード】



【児童のタブレットに送信】



※児童がどのようなストレス対処法を選択しているのか瞬時に集計。

II. チームスの会議をスケジュールし、配信の準備をする。



III. パワーポイントを作成する。



5. 感染症の予防(インフルエンザや新型コロナ等)

①使用したツール:ミライシード(ムーブノート)・パワーポイント

②時間:ドリルタイム等(20分)

③対象:高学年

④事前準備

資料等の作成	I. ミライシード(ムーブノート)でカードを作成し、指導を行うクラスに送る。 II. パワーポイント準備する(市共有フォルダにデータ有) III. 感想用紙準備する(市共有フォルダにデータ有)
準備した物	・タブレット児童用一人一台(ミライシードを使用) ・タブレット教師用一台(オクリンクの操作・パワーポイントの操作) ・テレビ(パワーポイントを映す) ・感想用紙

⑤指導内容

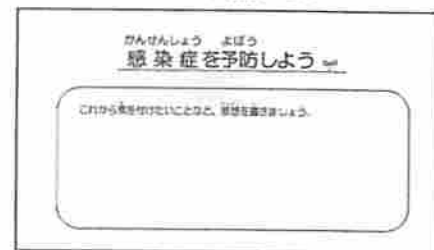
時配	学習内容と活動	資料等
5分	○感染症の予防のために、自分自身が普段実践していることを考える。 ・一人一台タブレットを机の上に準備し、ミライシードにログインする。 本時に送られてきたカードに回答して送る。	・ミライシード (ムーブノート)
10分	○テキスト集計したものを画面で共有し、それぞれの予防法を知る。 ○パワーポイントで感染症(感染経路や予防法)について学習する。	・ミライシード (ムーブノート) ・パワーポイント
5分	○これから気を付けたいことなど、感想を記入する。 ・感想を書き、タブレットで撮影。ムーブノートで提出する。	・ミライシード (ムーブノート)

I. ミライシード(ムーブノート)でカードを準備し、指導を行うクラスに送る。

【作成したカード】



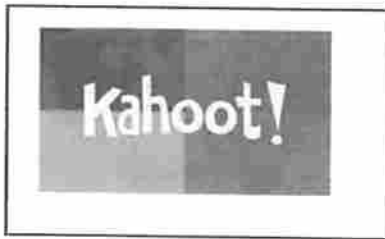
III. 感想用紙を準備する。



II. パワーポイントを準備する。



資料11 クイズアプリ「Kahoot! (カフート)」について



クイズアプリ『Kahoot! (カフート)』

テレビのクイズ番組を教室で行うことができる Web アプリです。クイズ作成側のみアカウント登録が必要です。教師が登録すれば子どもたちはクイズに参加可能です。

<http://kahoot.com/> →問題作成URL <http://kahoot.it/> →解答者用URL

自分が作成したkahootを一覧で見ることができます。

Upgrade before December 31 - 4 months are on us! Upgrade now

Kahoot! ホーム 教員 ライブラリ レポート グループ アップグレード 共有する 作成する

kaootのテンプレートを見つけことができます

遊んだKahootの解答結果を見ることができます

most kahoots, some prizes!

Kahootを作成することができます

kaootを作成する

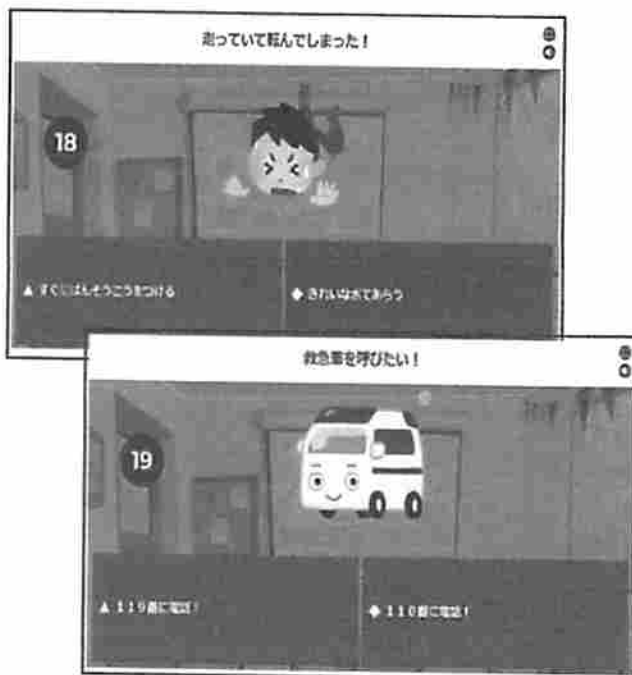
Kahootのホーム画面

次タスクに進みます

デモゲームをプレイする kahootの作成 kahootを主催

Kahoot!でできる一連の流れを体験することができます。

最新レポート



※無料プランは4択問題と○×問題の2つしか使えませんが、個人戦・チーム戦ができ、「正解ポイント」+「早押しポイント」の合計で集計され、ランキングを出すことができます。

※児童生徒には解答用URLとゲーム参加のPINコードをTeamsで送りましょう。